

中国への多角的アプローチ

斎藤 道彦 編著

2012年1月13日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 3,600円(税別)

序		
第1章	欧行記・文化交流・翻訳語 －郭連城『西遊筆略』(1863)初探－	千葉 謙悟
第2章	『陽明文庫』書簡からみる近衛篤磨の対中国理念と行動 －日本アジア主義者における中国政策の原型－	李 廷 江
第3章	周作人とA. ラング －童話への理解－	子安 加余子
第4章	商租問題と東亜勸業株式会社の土地経営	佐藤 元英
第5章	孔子は痰を吐いたか －新生活運動の思想的来源－	深町 英夫
第6章	フランク・プライスと戦時中国の国際宣伝	土田 哲夫
第7章	内戦・46年1月停戦命令・軍事調停	斎藤 道彦
第8章	中国共産党の統治の国際的正統性調達過程 －建国前中国国内政治におけるソ連の影響を中心に－	杜崎 群傑
第9章	中国経済の構造変化	谷口 洋志
あとがき		
索引		